



# 埋蔵文化財 愛知

no.45



井泉 SX05



溝 SD01 土器出土状況



水  
辺  
の  
祭  
祀

## 八王子遺跡

愛知県一宮市に所在する八王子遺跡では、旧河道を利用して掘削された溝とそれに接して設けられた井泉<sup>せいせん</sup>が発見された。井泉は大型の木材を使用した木組構造で、その周辺からは多量の土器・木製品・銅鏃・ガラス小玉などが出土している。2世紀後葉の水辺の祭祀を考える上で大変重要な発見である。( ・ に関連記事)

## 平成8年度の事業

## 平成8年度 事業計画

(財)愛知県埋蔵文化財センター

埋蔵文化財発掘調査 (総調査面積 68,875 m <sup>2</sup> )	
国道302号線関連	
高針原1号窯	
名古屋市名東区	1,000 m <sup>2</sup>
鴻巣古窯	
名古屋市天白区	300 m <sup>2</sup>
細口下1号窯	
名古屋市天白区	200 m <sup>2</sup>
東海環状自動車道関連	
上品野遺跡	
瀬戸市	3,000 m <sup>2</sup>
伊勢湾岸道路・第二東海自動車道 関連	
大脇城跡	
豊明市	10,000 m <sup>2</sup>
名神一宮上り線P.A関連	
三ッ井遺跡	
一宮市	4,000 m <sup>2</sup>
第二東海自動車道関連	
郷上遺跡試掘	
豊田市	570 m <sup>2</sup>
東海北陸自動車道関連	
馬引横手遺跡	
一宮市	5,140 m <sup>2</sup>
毛受遺跡	
一宮市	4,115 m <sup>2</sup>
八王子遺跡	
一宮市	15,006 m <sup>2</sup>
苅安賀遺跡	
一宮市	6,721 m <sup>2</sup>
中丸町三丁目住宅建設関連	
志賀公園遺跡	
名古屋市北区	5,000 m <sup>2</sup>
尾張西部都市拠点地区関連	
下津北山遺跡	
稲沢市	2,000 m <sup>2</sup>
庁舎新築関連	
吉田城遺跡	
豊橋市	800 m <sup>2</sup>

## 県道健康の森線関連

## 森岡一号窯

大府市 350 m<sup>2</sup>

## 県道萩原三条北方線関連

## 大毛池田遺跡

一宮市 400 m<sup>2</sup>

## 県道馬飼井堀線関連

## 一色青海遺跡

稲沢市 4,400 m<sup>2</sup>

## 五条川改修関連

## 清洲城下町遺跡

西春日井郡清洲町 2,000 m<sup>2</sup>

## 日光川上流域下水道関連

## 一色青海遺跡

中島郡平和町 600 m<sup>2</sup>

## 五条川右岸流域下水道関連

## 権現山遺跡

岩倉市 500 m<sup>2</sup>

## 清洲新資料館新築関連

## 朝日遺跡

西春日井郡清洲町 2,773 m<sup>2</sup>

## 調査報告書の作成

## 報告書の作成

70集 清洲城下町遺跡

71集 田所遺跡

72集 大毛池田遺跡

73集 西上免遺跡

74集 NA335古窯群・円通寺古墓

75集 大縄遺跡

## 報告書の印刷製本

61集 広坪遺跡

63集 烏帽子遺跡

65集 清洲城下町遺跡

66集 大毛沖遺跡

67集 北道手遺跡

68集 儀長正楽寺遺跡

69集 鳥羽城跡

## 出土遺物の分析・整理

## 門間沼遺跡

東新規道遺跡

東苅安賀遺跡

広報紙・誌など

愛知県埋蔵文化財情報 12

埋蔵文化財愛知 4回

愛知県埋蔵文化財センター - 年報

## 愛知県教育委員会実施の事業

愛知県教育委員会文化財課

県教育委員会は、遺跡の周知徹底を図り、開発事業との調整・協議のために基礎的資料の作成などをすすめているが、本年度は次に掲げる事業を実施していく。

## 中世城館跡調査

山林の荒廃や各種開発事業の進行に伴って滅失、変容の危機に直面している県内の中世城館跡の実態を把握し、保存の方策を講ずるための基礎資料とする。今年度は東三河地区の調査報告書の作成を実施する。

## 知多半島遺跡詳細分布調査

中部新国際空港(2005年開港予定)の建設等により開発事業の増加が予測される知多半島の遺跡の現状を正確に把握し、埋蔵文化財の保護と開発事業との調整に備える。今年度は半田・常滑市域の調査を実施する。

## 清洲貝殻山貝塚資料館拡充整備事業

朝日遺跡から出土した膨大な遺物を適切に保管し、展示公開などによる積極的活用を図るために、貝殻山貝塚の隣接地に新館を建設する。本年度は建設予定地の発掘調査を行う(平成11年度開館予定)。

## 第9回埋蔵文化財調査研究会

県内の埋蔵文化財担当専門職員が発掘調査成果の発表をとおして、情報交換と研鑽に努めることを目的に開催する。内容は、平成7年度に実施された発掘調査のうち8遺跡の事例発表を予定している。

開催日 平成8年7月5日(金)

会場 愛知県埋蔵文化財調査センター



愛知県埋蔵文化財担当専門職員名簿

愛知県教育委員会文化財課 主査 赤羽一郎 教育主事 長島 広・安藤義弘 柴田直光	052-961-2111	甚目寺町教育委員会社会教育課 主事 内山伸也	052-444-1621	一宮市博物館 学芸員(係長)土本典生 (財)瀬戸市埋蔵文化財センター 0561-21-1951	0586-46-3215
愛知県埋蔵文化財調査センター 所長 明壁正毅 主査 梅本博志	0567-67-4164	東海市教育委員会社会教育課 課長補佐 立松 彰	052-603-2211	係長 藤澤良祐 主任 岡本直久 調査員 松澤和人 金子健一 青木 修 佐野 元 河合君近	0561-21-1951
愛知県陶磁資料館 学芸部長 柴垣勇夫 主任学芸員 浅田員由・仲野泰裕 井上喜久男 学芸員 森達也	0561-84-7474	大府市教育委員会生涯学習課 主事 古田公治	0562-47-2111	愛知県清洲貝殻山貝塚資料館 052-409-1467	
名古屋市教育委員会文化財課 学芸員 小島一夫・竹内宇哲	052-972-3268	知多市教育委員会生涯学習課 書記 伊藤久仁洋	0562-33-3151	上級主任 野口哲也 主任 大矢 頭	
瀬戸市教育委員会文化財課 主事(学芸員)服部 郁	0561-82-0687	南知多町教育委員会社会教育課 事務史員 森 崇史 非常勤 磯部幸男	0569-65-2880	尾西市歴史民俗資料館 学芸員 小林弘昌	0586-62-9711
春日井市教育委員会民俗考古調査室 室長 大下武 主事 村松一秀 非常勤 浅田博造	0568-33-1113	岡崎市教育委員会社会教育課 事務史員 内藤高玲	0564-23-6177	美和町歴史民俗資料館 学芸員 鎌倉崇志	052-442-8522
犬山市教育委員会生涯学習課 事務史員 平松久和	0568-61-1800	西尾市教育委員会社会教育課 文化財係長 松井直樹 学芸員 鈴木とよ江	0563-56-2459	弥富町歴史民俗資料館 学芸員 伊藤隆彦	0567-65-4355
小牧市教育委員会文化振興課 文化振興係長 中嶋 隆 主事 坪井裕司 主事補 浅野友昭	0568-76-1188	知立市教育委員会文化課 事務補 大野真規 囑託 山本ひろみ・寺沢なつ子	0566-83-1133	半田市立博物館 館長 立松 宏 学芸員 近藤英正	0569-23-7173
稲沢市教育委員会社会教育課 主査 北條献示 主事 日野幸治	0587-32-1111	吉良町教育委員会社会教育課 主事 荻野 栄	052-444-2511	常滑市民俗資料館 学芸員 中野晴久	0569-34-5290
師勝町教育委員会社会教育課 主査(学芸員)市橋芳則 囑託 宮川芳照	0568-25-3600	豊田市教育委員会文化財保護課 主査 松井孝宗・森泰通 主査 杉浦裕幸・天野博之	0565-32-6561	武豊町歴史民俗資料館 学芸員補 奥川弘成	0569-73-4100
大口町教育委員会生涯学習課 囑託 宮川芳照	0587-95-3999	稲武町教育委員会 係長 長江洋一	05368-2-2511	安城市歴史博物館 館長 天野暢保 学芸員 岡安雅彦・斉藤弘之 主事 伊藤基之	0566-77-6655
津島市教育委員会社会教育課 主事 横井さつき	0567-24-1111	新城市教育委員会生涯学習課 主事 渡辺敬一・黒田 健	05362-3-4741	三好町立歴史民俗資料館 主事 嘉見俊宏	05613-4-5000
七宝町教育委員会社会教育課 主事 國立智美	052-444-2511	豊橋市教育委員会文化振興課 事務史員 費元洋・小林久彦 岩瀬彰利・岩原剛	05338-9-2158	足助資料館 主査 鈴木昭彦 囑託 鈴木茂夫	0565-62-0387
		豊川市教育委員会生涯学習課 主事 前田清彦・林 弘之		蒲郡市博物館 学芸員(主査)小笠原久和	0533-68-1881
		名古屋市見晴台考古資料館 学芸員 松村冬樹 木村光一 野口泰子 山田鉦一 平出紀男 水野裕之 木村有作 伊藤正人 服部哲也 伊藤厚史 村木 誠 田原和美	052-823-3200		

(平成8年5月1日現在)



財団法人  
愛知県埋蔵文化財センター

役員

理事長 安部 功  
常務理事 樋口康則

理事

安井俊夫 愛知県教育委員会教育長  
井関弘太郎 名古屋大学名誉教授  
伊藤秋男 南山大学教授  
大参養一 愛知学院大学教授  
坪井清足 財団法人大阪府文化財調査研究センター理事長  
榑崎彰一 愛知県陶磁資料館総長(名古屋大学名誉教授)  
間瀬泰男 都市教育長協議会会長(半田市教育長)  
高田鉦郎 町村教育長協議会会長(木曽川町教育長)  
山本邦夫 愛知県土木部長  
小田哲二 愛知県教育委員会生涯学習部長  
武田 晋 愛知県清洲貝殻山貝塚資料館館長(清洲町長)  
福田清彦 愛知県陶磁資料館館長

監事

鎌谷正衛 (非常勤)  
大見賢治 愛知県出納事務局次長

専門委員

考古学 榑崎彰一 愛知県陶磁資料館総長(名古屋大学名誉教授)  
文献学 福岡猛志 日本福祉大学教授  
地理学 海津正倫 名古屋大学教授  
建築学 小寺武久 中部大学教授  
考古学・動植物学 渡辺 誠 名古屋大学教授  
形質人類学 池田次郎 京都大学名誉教授  
保存科学 沢田正昭 奈良国立文化財研究所  
埋蔵文化財センター研究指導部長  
岩石学 諏訪兼位 日本福祉大学教授(名古屋大学名誉教授)  
木材組織学 木方洋二 名古屋大学名誉教授

職員

事務局長(兼管理課長)  
杉浦彰治

管理課 中川真文  
課長補佐 市山 泰  
主査 鹿取健司  
専門員 伊藤 弘  
主事 渡邊高夫 大井 治 長瀬尚哉 坂美貴子

調査課

課長 中川真文  
課長補佐(兼主査) 高橋信明 福岡晃彦  
主査 坂倉澄夫 小泉 渡 増澤 徹 黒田哲生  
主任 赤塚次郎 石黒立人  
調査研究員(主任) 小澤一弘  
調査研究員 藤井孝之 松田 訓 伊藤秀紀 宮腰健司  
浅井厚視 大崎正敬 中野良法 後藤英史  
西原正佳 北村和宏 山本寿徳 酒井俊彦  
池本正明 秋田幸純 服部俊之 小川芳範  
鈴木正貴 樋上 昇 飴谷 一 加藤博紀  
伊藤大佳彦 堀木真美子 永井宏幸 鬼頭 剛  
田中伸明 武部真木 蔭山誠一 原田 幹  
早野浩二 水谷 豊(期限付)

役員・職員の異動

転任(4月1日付)  
<管理課>  
主査 牧野 豊 愛知県教育委員会管理課へ  
主事 小杉正樹 愛知県教育委員会生涯学習課へ  
<調査課>  
主査 前田雅彦 小牧市立北里小学校へ  
主査 神谷知幸 西尾市立寺津小学校へ  
主査 水谷寛明 一色町立佐久島小学校へ  
調査研究員 小池一徳 東郷高等学校へ  
調査研究員 栗林典昭 木曽川町立木曾川西小学校へ  
調査研究員 今西康二 丹羽高等学校へ  
調査研究員 蟹江吉弘 半田高等学校へ  
調査研究員 牧 謙治 木曽川高等学校へ

## 遺跡調査速報

はちおうじ  
八王子遺跡

一宮市大和町

愛知県埋蔵文化財センター

濃尾平野のほぼ中央部を流れる日光川が、扇状地と低地部とに接触する地域には多くの重要な遺跡が集中している。例えば一宮市萩原町には、弥生後期の標識遺跡である「山中遺跡」が所在し、さらにその南には弥生時代後期から古墳時代にかけての南木戸遺跡や苗代遺跡がある。また弥生前期・中期の遺跡として著名な萩原中学校河田遺跡・二ツ子遺跡も存在している。これらは日光川左岸の自然堤防上に立地する遺跡群であり、「萩原遺跡群」と総称している。八王子遺跡はこの萩原遺跡群から東北へ約800mという至近距離にある。なお八王子遺跡の南には山中式後期の一括資料が出土している北川田遺跡も存在する。いずれにしてもこうした萩原から大和町荻安賀地区の遺跡群のあり方は、弥生から古墳時代を通じて興味深い動向が認められるようになってきており、その点からも総合的に再検討する必要がある。

さて今回の調査は東海北陸自動車道路建設に伴うもので、現在までの調査成果を踏まえると、八王子遺跡は弥生時代前期から古墳時代、さらに奈良時代から室町時代にわたって遺構群が複雑に展開していることが判明しつつある。特に弥生時代から古墳時代にかけてはほぼ継続的な集落の展開が推定できる。しかしその内容は、弥生時代前期・中期には調査区中央の自然流路NR01北側に環濠を伴う集落が展開し、それが中期末の段階でその構成が大きく変化し、居住空間から方形周溝墓が築かれる墓域に変化する。その後の弥生後期から古墳時代前期にかけては自然流路が急速に埋没するとともに河道南岸である南側に大きく集落が展開する傾向が認められる。

今回ここで紹介する「水辺の祭祀」は、95Ba区にて自然流路北岸に接して掘削された溝(SD01)と井泉(SX05)遺構を中心に認められる。八王子遺跡全体の遺跡の展開から見れば、集落域が大きく自然流路北岸から南岸へ移動する時点にあたる。

## 井泉 SX05

自然流路NR01の北岸にあたる95Ba区のほぼ中央部で古墳時代前期の大きかりな木組みをともなう井泉が見つかった。井泉SX01は自然流路北岸が東西方向からやや南に屈曲する地点に位置し、直径約5mのすり鉢状の掘形を持ち、更にその中央部を径約1mを円筒状に掘削する。上部に見られる木組みは、河道に面する部分を中心として、掘形の斜面に馬蹄形に配置している。河道に面するところには、長さ約3.5m、直径約0.5mの巨大な丸太材を横たえ、これを南北両方向から斜めに打ち込んだ杭で固定している。この丸太材は井泉の内側に湾曲しており、さらに西端と中央やや東よりの2箇所に幅約0.7mの突起部を設けている。丸太材の周囲には大型の槽の破片や扉板かと思われる巨大な板材などを用いて谷との仕切りを嚴重にしている。丸太材の東西は、細かな木片を横方向に密集させてしがらみ状にし、その両側から杭を打ち込んで固定している状況が見られる。これらの土木作業は明らかに井泉と川を隔てることを意識しており、特に川の流水が井泉の中に入り込むことを嫌ったのではないかと考えられる。このことはその内部で採取した土壌サンプルの珪藻分析でも裏付けられている。井泉の周辺からは銅鏃を始めとする特殊遺物や廻間式期に属する大量の小型精製土器などが出土していることから、井泉に湧き出る水にかかわる祭祀の場であったと想定できよう。

## 溝 SD01

自然流路の北岸に沿って、川の中に幅約7mの溝SD01がある。ここからは木組みをともなう特殊な井泉SX05の南側を中心に東西約20mの範囲内で大量の祭祀的な遺物群が出土した。溝の最下層から出土した1000点をこえる大量の土器群には小型壺やヒサゴ壺、鉢などの小型精製土器やパレス壺、未使用で小型のS字甕、手づくねのミニチュア土器などの器種があり、時期はおおむね廻

間式期の最も古い段階に属する。これらの土器にまじってSX05の周辺からは銅鏃6点、青色のガラス小玉5点、コハク製のナツメ玉とヒスイの勾玉各1点が出土した。また、木製品も多く、剣形や刀形なども出土している。これらはいずれも井泉SX05で執り行われた祭祀行為にかかわる遺物と考えられる。

## 水辺の祭祀

以上のようにSD01は最下層が廻間式初頭段階に所属する資料によって埋め尽くされており、その上層には廻間式前半期の資料が点在することから、SX05・SD01における祭祀行為が廻間式初頭(0・1段階)に中心があり、その後、廻間式前半期までこの空間が利用されたものとの推測が可能であろう。このような古墳時代の祭祀にかかわる井泉は近年全国各地で発見されている。東海地方では三重県の城之越遺跡(古墳中期)や六大A遺跡(古墳前~中期)などで同様の遺構が見つかり、話題を呼んだことは記憶に新しいところである。この八王子遺跡の井泉は愛知県では初めての検出例であり、しかも時期的には2世紀後葉と全国でも最古段階に属するきわめて貴重な発見といえよう。また、この時期の集落の中心は旧河道より南に移っていることから、川の北側は日常の生活とは異なる空間として機能していた可能性がある。

(埋文セ 樋上昇・赤塚次郎)



遺跡位置図(国土地理院「名古屋北部」1:50000)



SD01 西から



95 B a区全景 (南から)



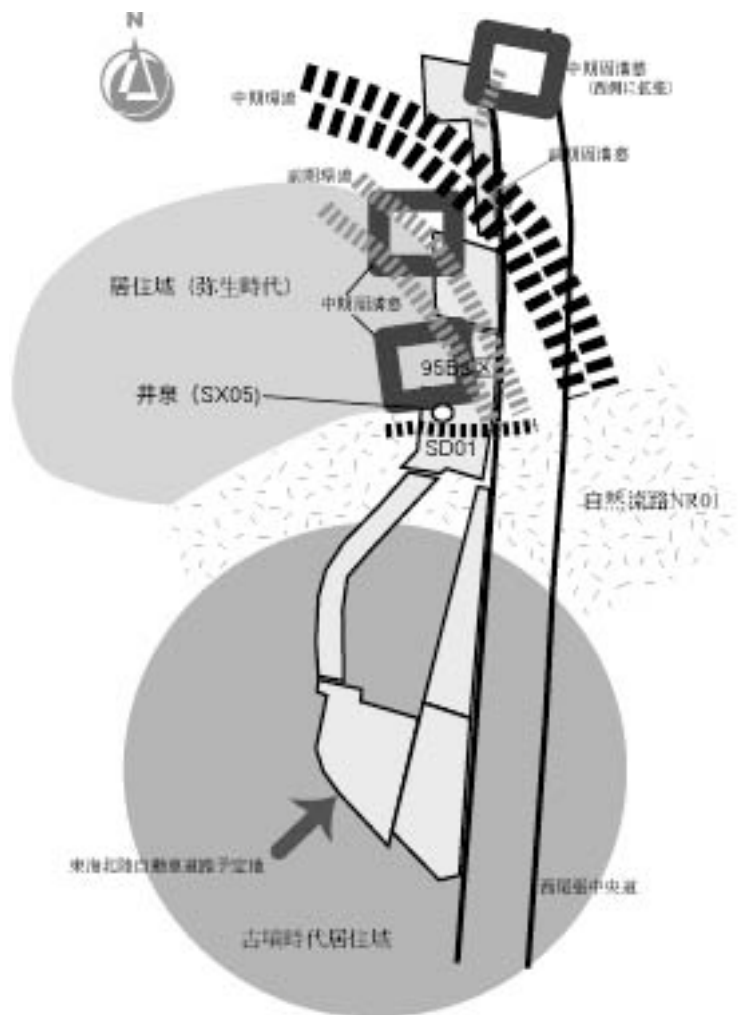
SX05 (井泉)



SD01 と SX05 全景 西から



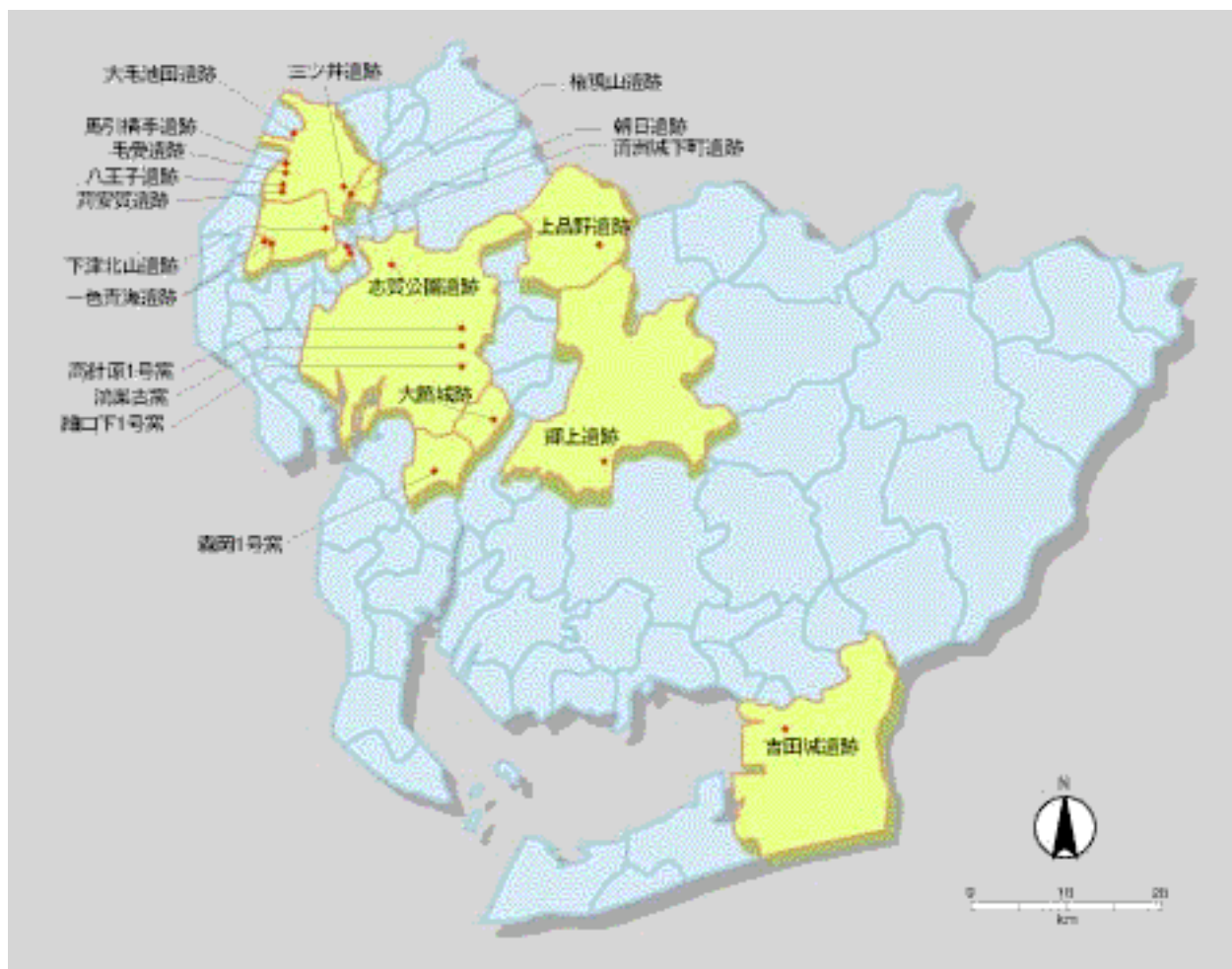
剣形木製品出土状況



八王子遺跡概念図

平成8年度 調査遺跡位置図

愛知県埋蔵文化財センター



埋蔵文化財展の開催 主催 愛知県教育委員会／豊川市教育委員会／(財)愛知県埋蔵文化財センター

- ◆ 会場 豊川地域文化広場 桜ヶ丘ミュージアム  
豊川市桜ヶ丘町79番地の2 TEL (05338)5-3775
- ◆ 期間 平成8年8月3日(土)～8月17日(土)
- ◆ 展示時間 午前9時～午後5時

埋蔵文化財講演会

- ◆ 講師 山中敏史氏 (奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター 集落遺跡研究室長)
- ◆ 演題 「発掘された古代地方の役所」
- ◆ 会場 豊川地域文化広場 桜ヶ丘ミュージアム 2F第2会議室
- ◆ 日時 8月10日(土)午後1時30分～3時

埋蔵文化財講座

- ◆ 会場 豊川地域文化広場 桜ヶ丘ミュージアム 2F 第2会議室
  - ◆ 日時 8月3・17日(土)午後2時～3時30分
- ※展示品を中心に発掘調査担当者のご説明致します。  
入場は無料です。



埋蔵文化財愛知 no.45

発行 平成8年7月1日  
編集 財団法人 愛知県埋蔵文化財センター  
〒498 愛知県海部郡弥富町前ヶ須新田字野方802-24  
TEL 0567-67-4161～4163 FAX 0567-67-3054  
印刷 クイックス